

地域の教育力を生かした学校づくりをめざして

鯖江市 鯖江東小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	8回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	10回(のべ)12日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	35人
授業ボランティア(含:低ボラ)	60人
登下校支援ボランティア	258人
その他(学校給食畑支援)	25人

(3) 特色ある活動

テーマ	「ふるさと教育」
-----	----------

* 公民館と連携した職員研修の実施

地域に根ざした教育活動を推進するには、まず教職員が地域を知らねばならないと考えた。そこで新横江公民館と連携し、「地域を知る研修会」を実施した。公民館長さんをはじめ多くの地域の方々の協力の下、地域の名刹・名所・旧跡・自然などについて全職員が実際に歩いて研修した。



* 研修を元にした地域学習の充実

研修での学びを元に、積極的なふるさと教育に取り組んだ。多岐に渡り全てを記載できないほどであるが、主なものを挙げる。

- ・地域の達人と共にエンドウ、トマト(リリコ)、大根、ブロッコリー、タマネギ、ごま、じゃがいも等の栽培活動
- ・町たんけん活動で地域のすごいを調べる学習
- ・子育て支援ネットワークと連携した「赤ちゃんだっこ体験」
- ・エコネットさばえによる「森作り体験学習」
- ・学年ボランティア活動としての「地域クリーン大作戦」
- ・「箸学」の達人による箸使いとマイ箸作り体験学習
- ・老人クラブの方々と共に行った校庭除草作業
- ・三世代交流事業の一環として、地域の方々と共に「凧作り」活動



これらの体験学習は、地域の方々との関係作りが深まり、情報が共有化され、「子どもたちにふるさとの素晴らしさを伝えたい」という教師の願いと「地域の子どもたちを地域の方で育てたい。学校に対しできることがあれば手助けしたい。」という地域の思いがつながって実現したものばかりである。

(左) 眼鏡枠作り作業の見学→

(右) 地域の湧き水地蔵堂→



成果と課題

校区を知る研修は、全く新しい視点での学びができると共に、授業にどう活用するか多くのアイデアを得ることができた。さらに児童に「先生が僕の地域のことを知っている。」「私たちの町は素敵だな。」という喜びを与えることができた。自分のふるさとに誇りを持ち、地域の一員としての自覚を育てる上で有意義だったと考える。さらに研修を積み、地域教材の掘り起こしをすると共に、地域に生きる子どもたちの育成を地域・保護者と共に考えていきたい。